

令和6年度

八軒中学校「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：37003

自らの疑問や課題を解決するための方法を考え、仲間と協働しながら主体的に学習に取り組むことができる生徒

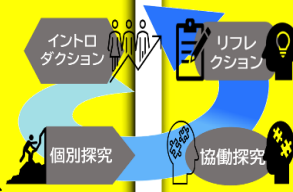
実 態	「学ぶ力」	
	これまでの 成果	課 題
	◇共通指標アンケートにおいて「疑問や課題を解決するのに、端末を使って調べようとしている」「疑問や課題を解決するために自分で方法を考えるようにしている」の項目で、肯定的な回答が85%以上とそれぞれ高い。多くの教科でICTを効果的に活用してきたことで、自ら課題探究的な学習に取り組むなど、主体的に学習する生徒が多くなってきている。	◇共通指標アンケートにおいて「自分の意見を進んで発言しようとしている」の項目で、肯定的な回答が58%と低く、自分の考えを発信することに課題がある。今後もICTなどを効果的に活用し、自分の考えを表現する活動を充実させていく必要がある。また、生徒一人一人の学び方を重視した個に応じた指導の充実や、家庭との連携、TTの活用や少人数授業などをより充実させることも課題である。

「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く相互承認の態度〉の現状と課題

◇「振り返ったことを次に生かそうとしている」「わからないことがあったときに、友達や先生に聞くようにしている」「人の意見を聞いて、それを参考にして自分の考えを見直すことがある」の項目で、それぞれ肯定的な回答が高く、協働的な学びの意義は感じている生徒が多い。今後は、「ICTの効果的な利用」「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体化を図っていくことが課題である。

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

自らの疑問や課題を解決するための方法を考え、仲間と協働しながら主体的に学習に取り組むことができる

取 組	AARサイクルの視点で捉え直した 課題探究的な学習の推進	さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」に基づく 自治的な活動の充実
	【取り組みの共有】 自分の考えを表現する学習活動や個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、ICTを効果的に活用し、課題探究的な学習を取り入れた授業の工夫改善を図る。 ◇基礎・基本の定着や習熟度に合わせた課題設定など、TT・少人数指導における生徒個々への細やかな学習指導や支援を充実 ◇主体的に学習に取り組むことができるような学習形態の工夫や、自分の考えを表現し、評価し合う学習活動の充実 	◇身に付けた知識を活用しながら、課題探究的な学習を行う ◇学校と家庭の共通理解のもとで、ICTを効果的に活用するなど工夫して、授業と家庭学習の接続を図る。 ◇小学校との交流授業や情報交流から、さらに一歩進んだ「小中一貫」を目指し、系統性・連続性のある課題探究的な学習の充実を図る。

〈本プログラムの実行に向けて〉

